

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【公開番号】特開2013-202288(P2013-202288A)  
 【公開日】平成25年10月7日(2013.10.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-055  
 【出願番号】特願2012-76473(P2012-76473)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 B 5/0245 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 5/02 3 1 0 H

A 6 1 B 5/02 3 2 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月24日(2015.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体の測定部位に光を照射する発光部と、  
 前記発光部から照射される光の光量を周期的に変化させる発光制御部と、  
 前記発光部から前記測定部位に照射された光を受光して検出信号を出力する受光部と、  
 前記検出信号の信号レベルを閾値と比較する比較部と、  
 前記比較部で前記検出信号の信号レベルが前記閾値以上になった時点から所定時間が経過した時点の前記検出信号の信号レベルを取得する信号取得部と、  
 前記信号取得部で取得した信号レベルから生体情報を検出する検出部と、  
 を備えることを特徴とする生体情報検出器。

【請求項2】

請求項1に記載の生体情報検出器において、  
 前記発光制御部は、前記検出部で検出された生体情報に基づいて、前記光量を変化させる周期を設定する  
 ことを特徴とする生体情報検出器。

【請求項3】

請求項2に記載の生体情報検出器において、  
 前記発光制御部は、前記検出部で検出された生体情報の周期に基づいて、前記光量を変化させる周期を設定する  
 ことを特徴とする生体情報検出器。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれかに記載の生体情報検出器において、  
 前記信号取得部は、前記検出部で検出された生体情報の周期に基づいて、前記所定時間を設定する  
 ことを特徴とする生体情報検出器。

【請求項5】

請求項1から請求項4のいずれかに記載の生体情報検出器において、  
 前記生体情報は、脈拍数である  
 ことを特徴とする生体情報検出器。

## 【請求項 6】

請求項 5 に記載の生体情報検出器において、  
前記発光制御部は、前記検出部で検出された前記脈拍数に応じた周期に基づいて、前記  
光量を変化させる周期を設定する  
ことを特徴とする生体情報検出器。

## 【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載の生体情報検出器において、  
前記受光部から出力される前記検出信号の平均レベルを求める平均レベル算出部と、  
前記平均レベルに基づいて前記閾値を設定する閾値設定部と、  
を備えることを特徴とする生体情報検出器。

## 【請求項 8】

請求項 1 から請求項 7 のいずれかに記載の生体情報検出器において、  
前記閾値は、前記検出信号の信号レベルを表す電圧に関する値である  
ことを特徴とする生体情報検出器。

## 【請求項 9】

請求項 1 から請求項 8 のいずれかに記載の生体情報検出器と、  
前記生体情報検出器で検出された生体情報を表示する表示部と、  
を備えることを特徴とする生体情報検出装置。

## 【請求項 10】

生体の測定部位に光量を周期的に変化させて光を照射し、  
前記測定部位に照射された光を受光して検出信号を出力し、  
前記検出信号の信号レベルを予め設定した閾値と比較し、  
前記検出信号の信号レベルが前記閾値以上になった時点から所定時間経過時の前記検出  
信号の信号レベルを取得し、  
前記取得した信号レベルから生体情報を検出する  
ことを特徴とする生体情報検出方法。